

Enigma LCとCROSS CUB110の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なCROSS CUB110の整備知識が必要です。
 ノーマル車両には車両に乗った状態で右側、サイドカバーの内側にECUがあります。
 まず、サイドカバー（右側）を取り外します。
 ECUがゴムマウントされています。



ECUに繋がっているカプラーを外し配線を加工してEnigma LCを割り込みさせて下さい。
 Enigma LCは近くに水に濡れないよう取り付けてください

カプラー側の配線にほとんどのEnigma LC配線を**割り込み接続します**。(ピンク／緑線、黒／オレンジ線は切断して接続。紫線はECUには接続しない)

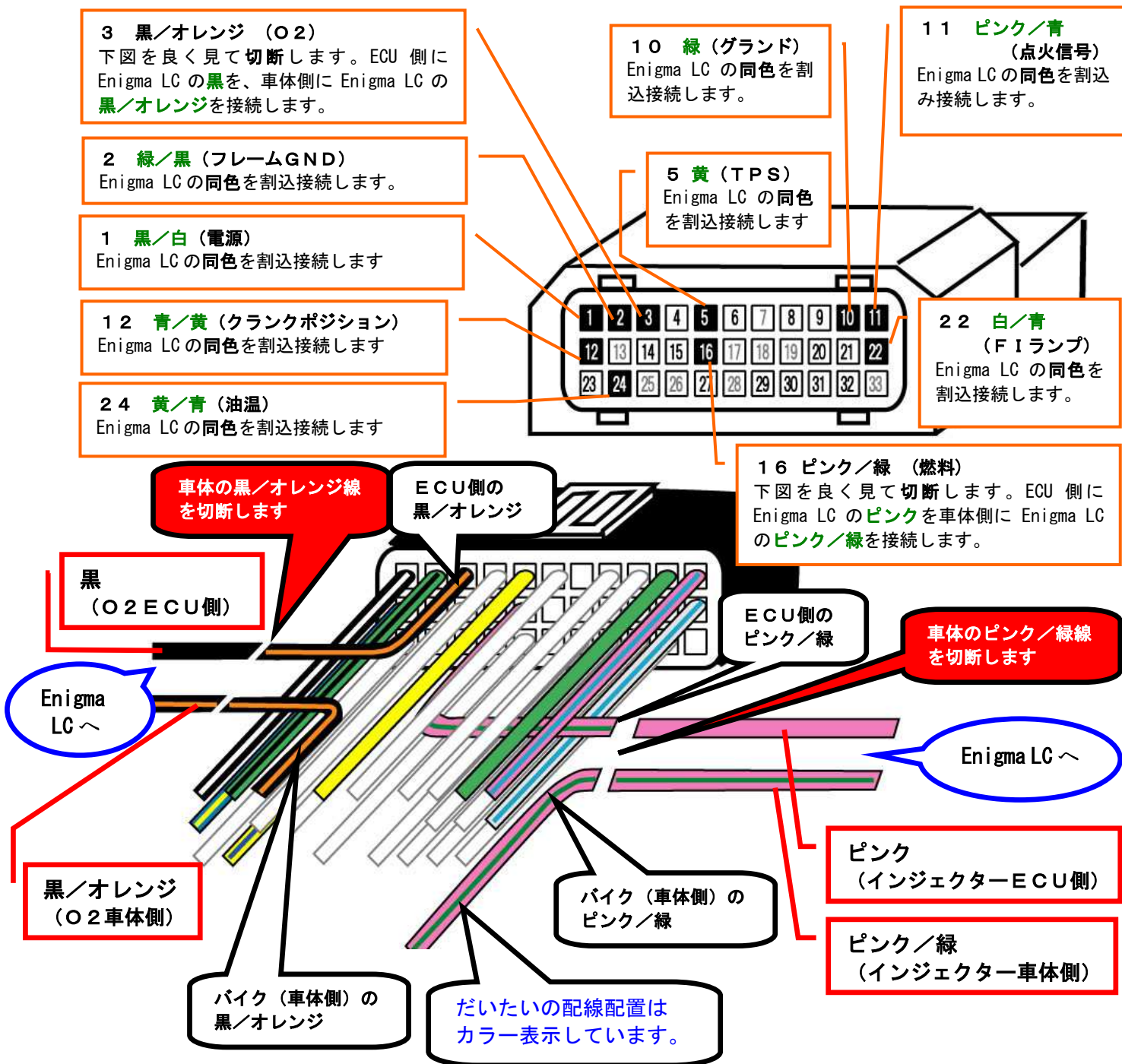
(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く
 Enigma LCの動作に問題が起きます。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

RTFタイプをお使いの方は、ECUに繋がっているカプラーを外し、Enigma LCRTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的にEnigma LCから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
 Enigma LCから接続する配線は全部で12本です。
ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
- ※ ECUの16番端子(ピンク／緑)へ接続されている線(インジェクターへの信号)を切断して、Enigma LCからの配線で、バイク車体側にピンク／緑線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9番端子と10番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ ECUの3番端子(黒／オレンジ)へ接続されている線(O2センサーからの信号)を切断して、Enigma LCからの配線で、バイク車体へ黒／オレンジを接続、ECU側に黒線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元から水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、2、3、5、10、11、12、16、22、24の10箇所です。上図で良くご確認下さい。
- ムラサキ線はサービス出力線です。Enigma LCはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでEnigma LC操作ソフトやアプリと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用ソフトは機種専用 Enigma LC CROSS CUB 110 用ソフトをお使いください。他のバイク用ソフトやFirePlus用ソフトはご利用になれません。
- iOS用アプリ、Androidアプリは Enigma LC 専用アプリをお使いください。Enigma LC 専用アプリは、アプリ内で CROSS CUB110 専用アドインデータを購入することにより CROSS CUB110 用 Enigma LC で使用することができます。他のバイク専用のアドインデータやFirePlus用のアプリは使用できません。
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS用アプリ、Androidアプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com/download.html>